

ヤマザクラ通信

vol.10

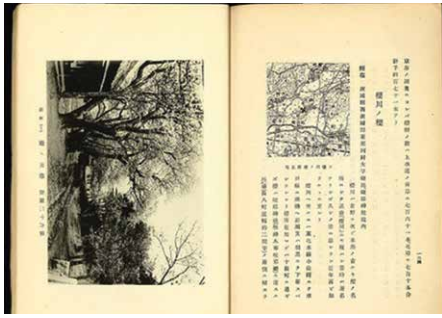
ヤマザクラ課（ヤマザクラグループ）

（☎58-5111・75-3111 内線1321）

桜川の山桜の歴史

山桜の名所といえば、奈良県の吉野山が有名ですが、桜川も、都が京都にあった平安時代に、紀貫之が歌に詠むほどの、吉野山に劣らぬ山桜の名所でした。

明治から昭和にかけて活躍した、桜博士こと帝国大学（現東京大学）教授の三好学（現東京大学）史蹟名勝天然記念物法の施行にあたり、その調査員として全国各地を回りました。自身の著書の中で、「櫻の名所として古来名高い所は、大和の吉野山を第一とし、武蔵は小金井があり、また常陸には櫻川がある。この中で吉野と櫻川とは、最も古い櫻の名所であり…」（以下略）」と記しています。



三好学 著 『櫻』

三好博士は、磯部地区周辺や、雨引山に何度も調査に入り、香りを放つものや、花卉の赤いものなど、桜川固有の特徴を持った、優れた山桜の名前をつけ、大正9年発行の桜の彩色図鑑「櫻花図譜」に11種類（命名は18種類）を掲載しています。

景勝地としての規模は小さいにもかかわらず、桜川が吉野山や小金井と肩を並べ、大正十三年に国の「名勝」に指定されたのは、謡曲の舞台になるなど、数多くの史実を有する、日本で最も古いサクラの名所であったことも、大きな要因でしょう。

もちろん、名勝に指定されている地域だけに優れた山桜があったとは考え難く、古くから桜川を取り囲む里山の山桜が素晴らしかったことは間違いないでしょう。

冒頭で紹介した紀貫之の歌は、

『常よりも
春辺になれば桜川
波の花こそ
間なく寄すらめ』

というものですが、これは桜川を取り囲む山々から花びらが舞い降りて、川面を花びらが覆い尽くす様子を思い描いたものと考えられます。



高峯の山桜

吉野山や桜川以外に現存するサクラの名所は、最も古いものでは、江戸時代の歴代將軍によって作られた、隅田川や小金井などがあります。

これらの江戸のサクラの名所には、桜川から苗木を移植して作られたものが、少なくありません。

江戸の名所以外では、古いものでも明治後期から大正時代（弘前公園や北上展勝地など）で、多くは第二次大戦以降に作られたものです。

吉野や桜川が、千年以上の歴史を持つことを考えると、いかにこの二つが抜きん出ているか分かります。

7月2日(火) 同時発売

各1枚 300円

発売期間 7月2日(火)~8月2日(金) 抽せん日 8月14日(水)

サマージャンボミニ

1等前後賞合わせて5,000万円

1等3,000万円、前後賞各1,000万円

サマージャンボ 7億円

1等前後賞合わせて7億円 1等5億円 前後賞各1億円

近くに宝くじ売場がなくてもネットで購入できるよ!

宝くじ公式サイト <https://www.tokai-kijibank.jp/>

宝くじに関するお問合せ / 03-3535-9033 [みずほ銀行] 公益財団法人 茨城県市町村振興協会

★この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
★宝くじは、ぜひ茨城県内でご購入願います。